



平成21年7月16日

各 位

ユニバーサルソリューションシステムズ株式会社
代表取締役社長 山口浩行
(コード番号:3390)
問合せ先 執行役員管理本部長 村上孝徳
電話番号 03-3568-1305

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成21年5月20日付当社「平成21年3月期決算短信(非連結)」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

(1) 第2四半期累計期間(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	861	△155	△156	△183
今回修正(B)	696	△171	△244	△258
増減額(B-A)	△165	△16	△88	△75
増減率	△19.2%	- %	- %	- %
(ご参考) 前期第2四半期実績	1,137	△155	△147	△140

(2) 通期(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	2,027	8	6	△26
今回修正(B)	1,437	△240	△380	△413
増減額(B-A)	△590	△248	△386	△387
増減率	△29.1%	- %	- %	- %
(ご参考)前期実績	1,997	△543	△539	△715

(3) 修正理由

当社は先に開示しております通り、第 14 期におきまして、順調に伸長している介護関連事業の展開、また、資本業務提携によるASP事業の拡大、さらに、株式会社光通信の連結子会社となったことにより、光通信グループの販売力を十二分に活用し、光通信グループの顧客企業に対する携帯向けASPソリューションの提供や光通信のグループ企業に対するITサービスを積極的に行うという営業施策を展開してまいりました。

しかしながら、第一四半期が経過した現在、ASP事業の拡大が計画通りに進捗しておらず、また、光通信グループの顧客企業に対する携帯向けASPソリューションの提供や光通信のグループ企業に対するITサービスの提供計画に遅れ等が生じているという状況であることから、今期の売上見通しを大幅に見直す必要があると判断いたしました。この結果、業績予想の修正を行うことといたしました。

尚、今回の業績予想修正の詳細につきましては、追って情報開示いたします。

今後は、順調に伸長しております介護関連事業に重点的にリソースを配分し、並行して新たな業務提携先の開拓を行い業績の回復に努めてまいります。なお、これらの施策による業績予測につきましては精査の上、必要な場合は速やかにお知らせいたします。

以 上